

「平成24年度山地災害から地域を守る集い」を開催しました。

- 1 日時 平成24年7月18日(水) 13時30分～
- 2 場所 山県郡安芸太田町大字加計 「川・森・文化・交流センター」
- 3 参加者 安芸太田町内80名 町外40名 計120名
- 4 内容

○集い開催の趣旨説明

地域の防災力低下を補うためには、「公助」「自助」「共助」で連携して社会全体で減災に取り組むことが重要で、自主防災への意識を高めることを目的として開催する。

○主催者あいさつ (一社)広島県森林協会 事務局長 小松 光二郎

○地元あいさつ(安芸太田町 小坂町長)

県内各地からの参加を歓迎する、近年全国で激甚な自然災害が発生、安芸太田町はこれまで多くの災害を経験、地域の役割が重要、この集いは時機を得たもの、森林協会に感謝する、町内の豊かな自然に触れていただきたい

◎講演「近年の災害を気象情報から学ぶ」

広島地方气象台 土砂災害気象官 杉岡 成彦

昭和47年、昭和63年、平成18年に安芸太田町で発生した土砂災害について、気象情報と災害発生を時系列に捉えて説明

注意報・警報の発表のタイミング

土壌雨量指数(土壌中の水分量)が最も高いところで災害が発生

減災へ生かす情報(土砂災害警戒区域、浸水区域、気象情報、短時間豪雨監視)

注意したい心理(正常化の偏見、体験に基づく偏見、集団同調心理、オオカミ少年効果)

日頃から災害に備える(訓練、避難場所の確保、早めの避難)

○質問 ・土壌雨量指数を分かりやすく説明して欲しい(広島市)

5kmメッシュでアメダス情報等(3週間データを遡る)から計算を行ったもの

・7.2時間半減期と土壌雨量指数の関係は(北広島町)

関係をこれまで調べたデータを持っていない

休憩(14時50分～15時)

◎山地災害防止への取組事例の報告

- ・広島県の治山事業「平成22年7月庄原市豪雨災害を事例に」

広島県森林保全課治山グループ 山野主任が報告

災害発生状況(雨量、被害地の地況、治山施設の効果等)

治山事業による復旧(砂防ダムとの関係、治山施設の計画、施工状況等)

- ・安芸太田町の防災への取組み

安芸太田町 小島総務課長が報告

4.8自治振興会の自主防災への取組み

本年より助成措置を講じる

防災備蓄計画

安芸太田町森林セラピーの概要(平成25年6月グランドオープン)

- ・自主防災組織の育成について

広島県森林協会 宿利 が説明

組織育成事業の趣旨

募集要領(これまでの問合せ等を踏まえて)

- 5 閉会(15時50分)